

<p>会議名(委員会・部会) 教育・研修委員会 第 2 回 社員教育改善部会</p>	<p>開催日時 開催場所</p>	<p>平成 27 年 7 月 28 日(火) 16:00~18:00 東印工組 4 階会議室</p>
<p>出席者 (敬称略) (順不同)</p>	<p>土屋勝則委員長、小宮山貴史部会長、山田智昭、安田克実、伊東二郎、古地政雄、都築保志、嶋 信介、作道昌弘の各委員 〈事務局〉青木(担当)</p>	
<p>議題.1 &gt; 結果 &gt;</p>	<p><b>若手社員向け教育プログラムの視察結果について</b> 次年度の講座内容について、本年度の内容から改善の必要があれば見直すことを目的に、部会委員が下記のとおり分担して各講座を視察した。視察により出された意見や改善してほしい点については、事務局から各講座の講師に伝え、次年度の講座へ反映してもらうこととした。 「新入社員スキルアップ研修講座Ⅰ」…4/22(水) 作道委員 「新入社員スキルアップ研修講座Ⅱ」…4/24(金) 小宮山部会長、山田委員 27(月)、28(火) 山田委員 「ビジネス法務基礎講座」…4/30(木) 小宮山部会長、嶋委員、山田委員 「コミュニケーションスキルアップ研修セミナー」…5/12(火) 安田委員 「印刷製作基礎講座」…5/25(月) 都築委員 26(火) 伊東委員、古地委員</p>	
<p>議題.2 &gt; 経過 &gt;</p>	<p><b>平成 28 年度若手社員向け教育プログラムリーフレットの作成について</b> (1) 教育プログラムの内容について 現在の講座メニューについては年々受講者が増加し、内容も概ね好評を得ているので、次年度も継続して開催することとした。なお、以下 3 点の意見が出され、対応について事務局が講師および派遣窓口担当者と交渉することとした。 ①「コミュニケーションスキルアップ研修セミナー」について 主に若手社員に向けた内容の講座であるものの、毎年数名の中堅社員(社会人経験が 5~10 年程度)の受講者があり、講師・受講者共に講座内容と社会人経験のズレに違和感を持っていた。このことから、若手社員向けと中堅社員向けの 2 つの講座を用意してはどうか。 →日本印刷技術協会(JAGAT)に連絡し、同協会が講師と交渉した結果、出講可能との回答があった(7/30)。 ②「ビジネス法務基礎講座」について ①と同様に若手社員と総務人事関係の中堅社員の受講者が混在している。講座内容は若手社員には難しく、中堅社員には物足りない中途半端な状況なので、次年度からは法務問題に直面する総務人事の中堅社員向けに、より専門的な内容に見直して開催したい。 →講師に連絡したところ、講座内容の見直しを行う旨の回答があった(7/29)。 ③デジタル印刷機を使った講座の新設について 都立中央・城北職業能力開発センターが、9 月頃に新しくデジタル印</p>	

<p>結果 ➤</p> <p>議題. 3 ➤</p> <p>議題. 4 ➤</p>	<p>刷機を導入することが決まっております、それを使った講座を新たに設けてはどうか。</p> <p>→同センターに連絡したところ、機械の動作確認と慣らし運転が終了し、稼働が安定すれば対応可能との回答があった(7/29)。</p> <p>(2) 案内の体裁について</p> <p>これまでの A3 二つ折り 4 頁リーフレットから A4 一枚 2 頁チラシへと変更し、利用者が少ない「キャリアアップ助成金制度」の掲載を取りやめることとした。また、上記(1)-①のとおり中堅社員向けの講座を新設する見込みであることから、若手社員向けにこだわらない説明内容とするとともに、これまで東印工組ニュース(FAX)でのみ案内していた全講座一括申込みパック料金について掲載することとした。</p> <p>チラシの作成は、事務局で文面案を作成し、それを基にしたデザイン制作と印刷を欧文印刷㈱に依頼することとした。</p> <p>チラシは、機関誌「東京の印刷」平成 28 年 1 月号に同封し、各種会合でも配布することとした。</p> <p>次年度以降のオフセット印刷技能検定委員の選任について</p> <p>制度教育講座の講師および技能審査委員(試験監督)の選任について</p> <p>上記 2 つの議題は次回以降に検討することとした。</p> <p style="text-align: right;">以上</p>
<p>次回予定</p>	<p>平成 27 年 10 月 19 日(月) 16:00~18:00 東印工組 4 階会議室</p>